

<学校名>春日部市立豊春小学校

<所在地>春日部市道順戸 37-1

<電話>048-754-0726

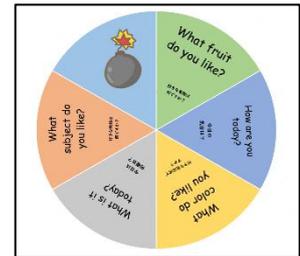
<本事例の特徴>

本校は、外国語の授業を英語専科が担当している。活発に会話を楽しんだり、アクティビティを行ったりしている。6年の外国語に地域の紹介をする単元がある。学級内での紹介では、動機が不十分のためなかなか盛り上がらない。そこで、「外国人に紹介したい私たちの町」という設定で学習に取り組んだ。

<具体的な取り組みや成果>

○事前学習の取り組み

- ・フリートークを楽しめるために、授業の前にフリートークルーレットを実施した。グループになり、一人ずつ鉛筆を倒して、その質問をしたり答えたりする活動を行った。bomber question を設けたことにより、マンネリ化せず、毎回新鮮な気持ちで学習していた。
- ・春日部市を紹介するプレゼンテーションを行った。各々が紹介したい施設や伝統文化などをパワーポイントにて紹介するコンテンツを作成した。



<紹介したい春日部>

・ララガーデン・イオンモール・大型スーパー・パン屋・豊春小学校・梨園・スポーツホール・図書館・藤祭り・地底探索ミュージアムなど

<あったらいいもの>

・動物園・水族館・遊園地・日光東照宮・世界遺産・海・田園・富士山・キャンプ場・地下鉄・新幹線・など

<コンテンツ例>



○ブレンディッド学習の取り組み

- ・クラスを6グループに分け、6人のALTとzoomで繋いだ。5~8分程度で交代し、クラスの全員がALTとじっくり会話することができた。グループで協力し、学習した英語の知識を出し合いながら、春日部市の紹介やフリートークを楽しんだ。

・話が通じてうれしかった。・春日部のことを紹介できて、楽しかった。・先生から教えてもらった英語を話したら通じた。・なんと言っているか分からなかったけど、班の友だちが教えてくれてわかった。・積極的に話せた。

○今後の課題

- ・ICT機器の操作に慣れていないこともあり、音声聞きにくかったり、画面越しでプレゼンテーションができなかったりすることがあった。お互いの声を聞き取りやすくする工夫や画面共有がスムーズにできると時間が短縮され、より深く繋がりができる。
- ・児童からの発信を聞いてもらうことに主眼を置いていたが、ALTの母国についての話を聞いたり、質問したりする時間があるとより深まる。